

Q 海外のチップの習慣とはどのようなものでしょうか。

A 【ワンポイント・アドバイス】

チップの習慣は国によって異なりますので、どのようなときにいくらかのチップが適当かについては、その国の習慣をよく知っている人に聞くことが必要です。

【解説】

1. チップの習慣は国によって異なりますので、出張や旅行の前に現地の事情に詳しい人にチップの習慣を聞いておくと役に立ちます。現地に到着した時に、ポーターサービスやタクシーを利用した場合、いくらかのチップを手渡すのが目安かを知っておくと、無用なトラブルを避けることができます。
2. たかがチップ、されどチップです。以下、米国の例ですが、友人知人が経験したチップにまつわるトラブルを紹介しますので、参考にいただければ幸いです。
 - (1) レストランで50ドル程度の飲食後、支払いのときにチップを1～2ドル加えたところ、レストランから少額過ぎるとの不満を表明された（米国では、レストランでのチップは、税引き後の飲食代金の10～15%程度が平均です）。
 - (2) 美容院でチップを支払う習慣であることを知らなかったため、請求された料金のみ支払おうとしたところ、美容師から、「とてもすてきな髪型になりましたよ」とむやみに強調され、チップの支払いを間接的に論じられた（米国では、美容院で料金の10～15%のチップを支払う習慣があります）。
 - (3) レストランで、料理がなかなか出されず、相当時間がたってから冷めた料理が出されたため、敢えてチップを支払わなかった（厨房でシェフがストライキを起こしていた様子で、レストラン中の客に料理が出されず、騒然となっていた例外的な例）。